

「全社員 DX 人財化」を目指し 本年も DX・IT 人財育成プログラムをスタート

対象社員を 1.5 倍に拡大。

早期に DX・IT 案件を推進できる体制構築を目指します。

サッポロホールディングス（株）は、グループの DX 方針(注1)を推進するための「全社員 DX 人財化」を目指す DX・IT 人財育成プログラムを本年もスタートさせました。

このプログラムは昨年始動した人財育成プログラムで、研修ステップを「全社員ステップ」「サポーターステップ」「リーダーステップ」の3段階に分ける形で構成しており、本年の全社員ステップでは、関連会社の社員等も含め、受講対象者を昨年比 1.5 倍の約 6,000 名（注2）に拡大しました。「リーダーステップ」では、昨年と合わせて DX・IT 基幹人財 200 名の育成を目指します。各ステップの研修内容は、昨年も協業した株式会社エクサウィザーズ（注3）および株式会社インソース（注4）に加え、本年はトレノケート株式会社（注5）、株式会社キカガク（注6）、株式会社 SIGNATE（注7）の教育プログラムを新たに導入し、バージョンアップを行いました。同業他社の DX 最新事例を学ぶ機会や、実際に手を動かしてデータ分析・アプリ構築等を習得できる機会を拡充することで、研修後の現場 DX 推進の効率化を促します。

サッポログループでは本年より「中期経営計画（2023～26）」（注8）をスタートさせ、事業戦略・財務戦略・サステナビリティを支える経営基盤として「DX」を重点活動の1つに位置付けています。あらゆるステークホルダーとともに成長し続け、お客様と企業の価値最大化を目指し「全社員 DX 人財化」への取り組みを引き続き推進していきます。

■DX・IT 人財育成プログラムの全体像

（1）全社員ステップ（2023年2～3月）

<概要>

- ・DX・IT の基礎的知見を備えた人財の育成を目指す。

<本年のポイント>

- ・受講対象者に関連会社社員や外食事業の店舗スタッフを加え、対象者を昨年比 1.5 倍へ拡充。（注2）
- ・酒類、食品・飲料、不動産、飲食等、同業他社の DX 最新事例を学べるコンテンツを強化。

（2）サポーターステップ（2023年4～6月予定）

<概要>

- ・公募による選定を経て、DX・IT 案件を推進または支援する素養を備えた人財の育成を目指す。

<本年のポイント>

- ・AI 等の最新技術活用事例を学べるコンテンツを強化。

（3）リーダーステップ（2023年7～12月予定）

<概要>

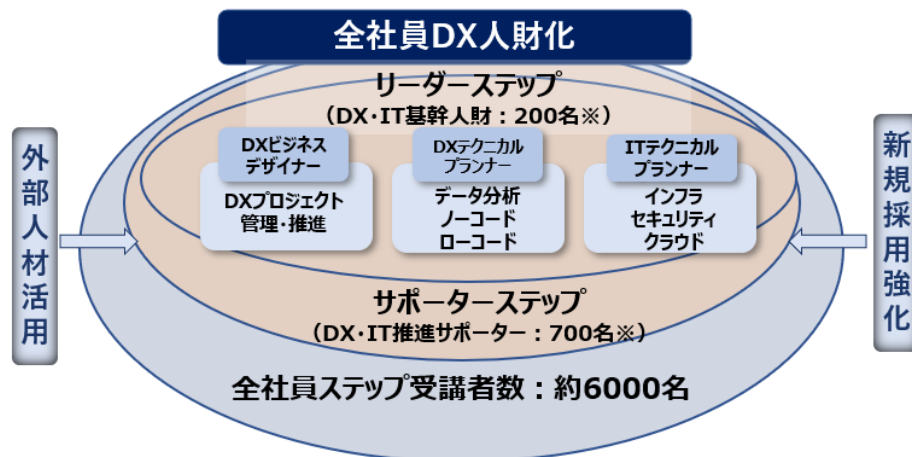
- ・アセスメントを経て、DX・IT 案件を推進できる人財の育成を目指す。

・外部機関の教育プログラムを活用した基礎研修と「DX ビジネスデザイナー」「DX テクニカルプランナー」「IT テクニカルプランナー」の3つの専門研修に分かれ受講。

<本年のポイント>

- ・「DX テクニカルプランナー」人財の人数比率を約2倍へ向上。(本年67%・昨年30%)
- ・自部門に戻っての現場DXが効率的に推進できるよう、実際にデータ分析・アプリ構築等を習得できる実践的研修を強化。

■DX・IT人財育成プログラムの全体像



※育成人数は2022年,2023年合計
(うち2023年サポーター：150名,2023年基幹人財：50名)

(注1) <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8912>

(注2) サッポロホールディングスおよび主要5事業会社(サッポロビール、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、サッポログループ食品、サッポロライオン、サッポロ不動産開発)の社員とグループ子会社・店舗従業員

(注3) <https://exawizards.com/>

(注4) <https://www.insource.co.jp/index.html> <https://www.insource-da.co.jp/>

(注5) <https://www.trainocate.co.jp/>

(注6) <https://www.kikagaku.co.jp/>

(注7) <https://signate.jp/>

(注8) https://www.sapporoholdings.jp/groupannouncement/20221109_shmmp.pdf#/

以上